

令和6年度

秋季群馬県医学会

日本医師会生涯教育講座 2.0 単位

日時

令和6年11月30日(土) 14:30

場所

ホテルラシーネ新前橋 3階「曙」(Web視聴同時開催)

司会 群馬県医師会理事 佐藤 雄一

【第1部】 (14:30)

- ◆ 研究発表 11題 (誌上発表 27題)
- ◆ ぐんまレジデントグランプリ 2024 受賞者上位3組による発表 (16:00)

【第2部】 (16:15)

- ◆ 挨拶 群馬県健康福祉部長 中島 高志
群馬県医師会長 須藤 英仁
- ◆ 令和5年度生涯教育制度高単位取得者の表彰
- ◆ 群馬大学特別講演 北関東医学会推薦(16:45)
[加算ポイント: 9・医療情報(0.5)]

「胃がん化学療法の最近の話題」

〔講師〕群馬大学大学院医学系研究科 内科学講座 腫瘍内科学分野 教授 高張 大亮 先生

ピロリ菌除菌の普及等により胃がんの罹患数は減少傾向にあるものの、依然として切除不能進行胃がんの予後は不良である。しかし最近、多くの新規薬剤が導入され、胃がん薬物療法は新たな時代に入った。具体的には免疫チェックポイント阻害薬(ニボルマブ、ペムブロリズマブ)や抗Claudin 18.2抗体薬(ゾルベツキシマブ)が胃がんでの適応を取得している。本講演では、これら最新の治療トピックを中心に、胃がん化学療法の最近の話題について解説する。

◆ 特別講演 (17:30)

[加算ポイント: 0・最新のトピックス・その他(1.5)]

※特別講演のみ「日本専門医機構学術集会参加1単位」「日本専門医機構産婦人科領域講習1単位」取得可能です。

「昨今の女性医療に関する諸問題」

〔講師〕千葉大学大学院医学研究院 産婦人科学 教授

千葉大学医学部附属病院 産科・婦人科 診療科長 甲賀 かをり 先生

昨今の目覚ましい女性の社会進出の陰で、過去にはなかった女性医療に関する諸問題が発生している。例えば、少産・晩産化に伴い月経回数が増えたことによる月経困難症などの月経関連疾患、子供を持ちたいと希望した時に授からない不妊症などである。さらに長らく女性がマイノリティーであった組織では、女性特有の健康問題への理解と支援が不足している場合も多い。産婦人科医師の視点から、さまざまな専門の先生方に向け、問題提起とディスカッションを行いたい。

◆ 閉会 群馬県医師会副会長 西松 輝 高

懇親会(19:00) 同ホテル「葵」にて

共催: 群馬県医師会・群馬県